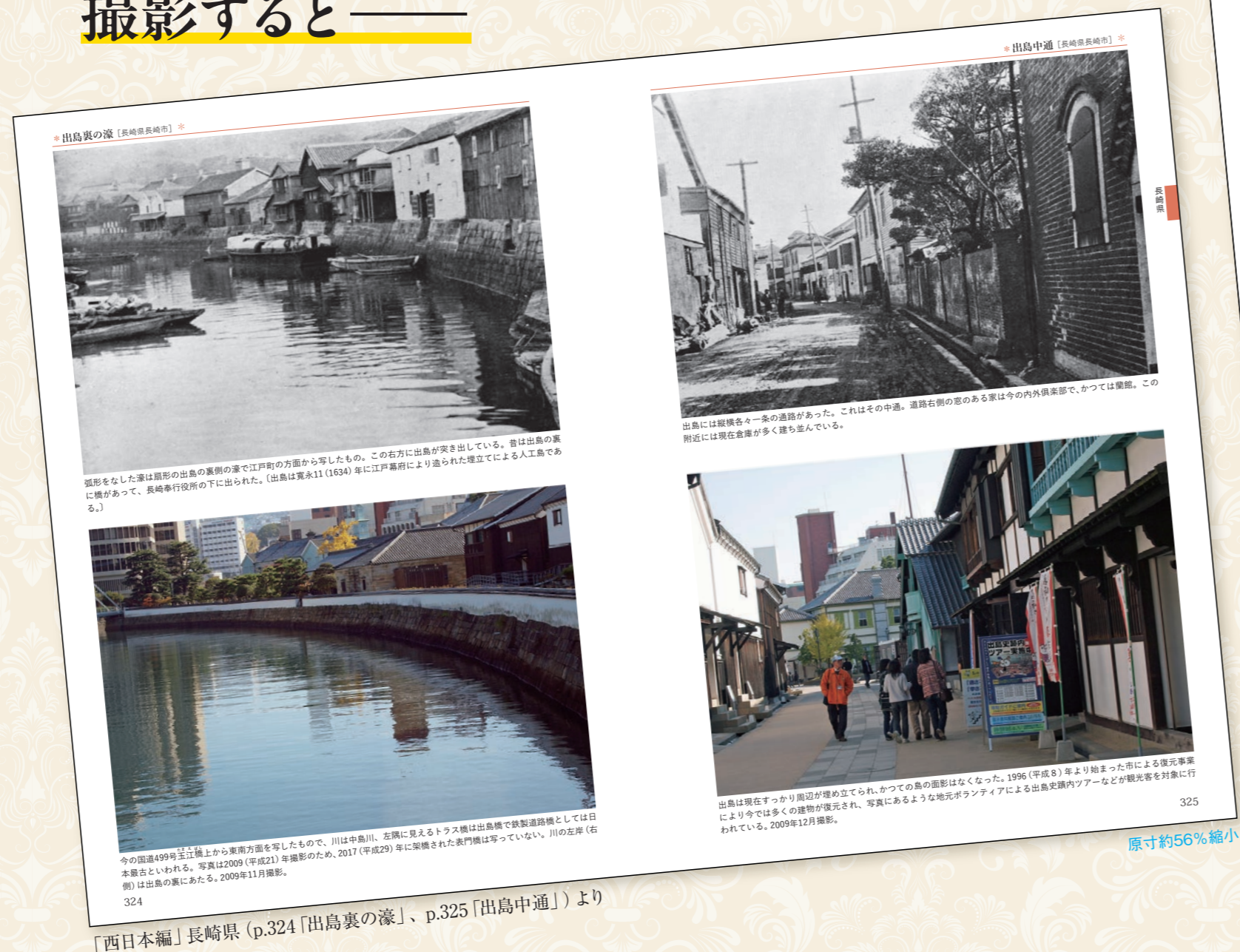


今からおよそ100年前刊行の『日本地理風俗大系』『日本地理大系』に掲載された
北海道から沖縄までの日本各地の写真を、
平成・令和の今、同じ場所、同じアングルで
撮影すると——

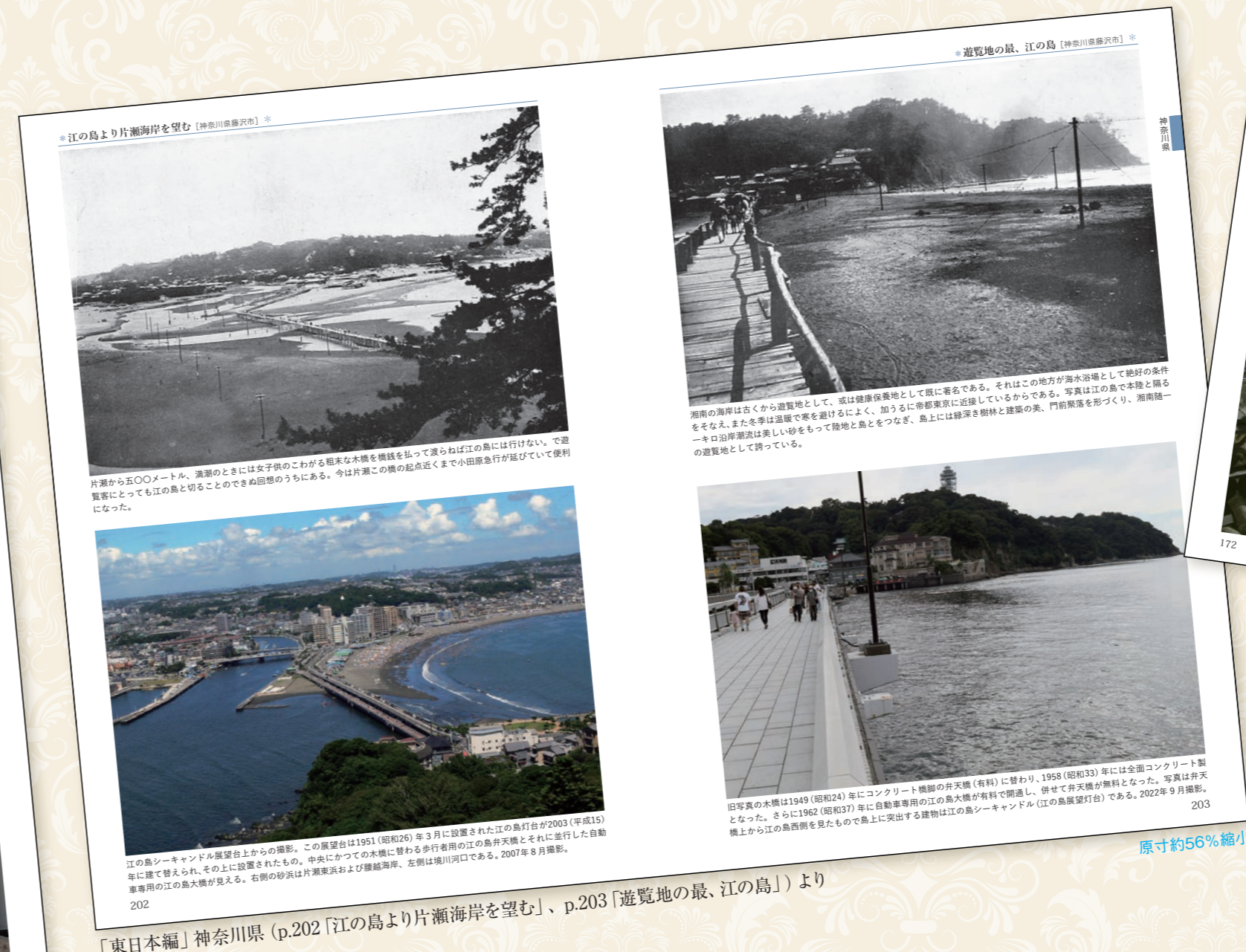
刊行にあたって

かつて、本多勝一氏は「よいポを書くには、お金、時間、命のどれかをかけなければならない」という主旨の記述をされていた（出典は失念してしまったが）。私はこの写真集をつくるのに、初めは時間をかけ、やがて仕事を得るとお金も併せてつぎ込んだが、命はかけていない。だが還暦を過ぎて久しい今、これからも定点写真撮影を継続してゆくには、命もかけないといけないのかもしれない。昭和初期に刊行された『日本地理風俗大系』や『日本地理大系』には国内のみならず国外も含めるとまだまだ魅力的な写真が数多く残っており、ぜひ定点撮影に利用したいと思うからである。2025年は「昭和100年」に相当する。この写真集によって、日本の100年間の変遷の一端に触れていただくと幸いである。

二村正之



【西日本編】長崎県 (p.324「出島裏の濠」、p.325「出島中通」)より



【東日本編】神奈川県 (p.202「江の島より片瀬海岸を望む」、p.203「遊覧地の最、江の島」)より

- 原則ページの上段に昭和初期（戦前）の写真、下段に同じ場所、同じアングルから撮影した平成・令和の写真を配置。
- 撮影地がこの100年余りでどのように変遷・変貌したのか、撮影時の様子を詳細な説明文で解説。



- 壮大な景観のパノラマ写真は見開きで多数掲載。町並みや地形がどのように変化したのかを一望できる。

どのページを開いても、100年を隔てた
景観の変遷・変貌ぶりに
誰もが驚きと感動を覚えるはず。

新旧写真各約800点を収録、写真1点1点に説明文を添付。
47都道府県を網羅した、タイムトラベル写真集の決定版！